

2027年3月期 第1四半期 決算資料

2026年7月31日

双日株式会社

将来情報に関するご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。
実際の業績等は、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

資料 | 1

2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し

資料 | 2

セグメント情報

資料 | 3

補足データ集

資料 | 1

2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し

決算サマリー（2027年3月期 第1四半期）



- 2027年3月期 第1四半期は当期純利益302億円、通期見通しに対し**進捗率23%**。中東情勢については引き続き注視
- 通期見通し1,300億円に向け、勝ち筋ある事業領域からの利益貢献を中心に順調に進捗中

	(億円)	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減	27/3期 見通し
当期純利益 ※1	211	302	進捗率 23%	+ 91	1,300
基礎的営業CF ※2	321	400	進捗率 27%	+ 79	1,500
基礎的CF ※3	▲ 494	▲ 278		+ 216	▲ 110
ROE(%)					12
ROA(%)					3.5
一株当たり配当金(円)					180
					中間90円 / 期末90円

※1 本資料では、「当期純利益（親会社の所有者に帰属）」を「当期純利益」と表記
※2 基礎的営業CF = 会計上の営業CFから運転資金増減等を控除したもの
※3 基礎的CF = 基礎的営業CF + 調整後投資CF - 支払配当金 - 自己株式取得（調整後投資CF = 会計上の投資CFに長期性の営業資産等の増減を調整したもの）

BSサマリー（2027年3月期 第1四半期 実績）



(億円)	26/3末	26/6末	前期末比 増減
資産（流動/非流動）	36,480	37,304	+ 824
現金及び現金同等物	2,451	2,421	▲ 30
営業債権及びその他の債権（流動）	10,924	10,514	▲ 410
棚卸資産	3,405	3,572	+ 167
のれん	1,797	1,859	+ 62
有形/無形資産/投資不動産	4,206	4,280	+ 74
持分法投資及びその他の投資	8,974	9,786	+ 812
その他	4,723	4,872	+ 149
負債（流動/非流動）	24,942	25,162	+ 220
営業債務及びその他の債務（流動）	7,499	6,517	▲ 982
社債及び借入金	12,956	14,205	+ 1,249
その他	4,487	4,440	▲ 47
資本	11,538	12,142	+ 604
自己資本 ※	10,904	11,447	+ 543

主な増減内容等

- 営業債権及びその他の債権（流動）
 - 煙草取引、防衛関連取引による減少
- 棚卸資産
 - 水産事業、海外肥料事業での増加
- 持分法投資及びその他の投資
 - 新規投資及び持分法による投資損益の増加
 - 保有株式の時価評価による増加
- 営業債務及びその他の債務（流動）
 - 煙草取引による減少
- 社債及び借入金
 - 新規調達による増加
- 自己資本
 - 当期純利益(+302)
 - 配当支払(▲173)
 - FVTOCI(+206)
 - 為替(+186)

※ 自己資本は、資本のうち「当社株主に帰属する持分」とする

財務指標（2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し）



	26/3末	26/6末	前期末比 増減	27/3末 見通し
(億円)				
総資産	36,480	37,304	+ 824	37,000
自己資本 ※1	10,904	11,447	+ 543	11,400
うち、株主資本 ※2	8,180	8,301	+ 121	—
自己資本比率 ※1	29.9%	30.7%	+ 0.8%	30.8%
グロス有利子負債	12,956	14,205	+ 1,249	—
ネット有利子負債	10,396	11,711	+ 1,315	11,400
ネットDER ※1	0.95 倍	1.02 倍	+0.07倍	1 倍程度
ROE	10.1%	—	—	12%
ROA	3.1%	—	—	3.5%
流動比率	155.4%	157.7%	+ 2.3%	
長期調達比率	76.9%	73.1%	▲ 3.8%	

※1 自己資本は、資本のうち「当社株主に帰属する持分」とし、自己資本比率の分子／ネットDERの分母に使用
※2 株主資本は、自己資本のうち、その他の資本の構成要素を控除したもの

PLサマリー（2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し）



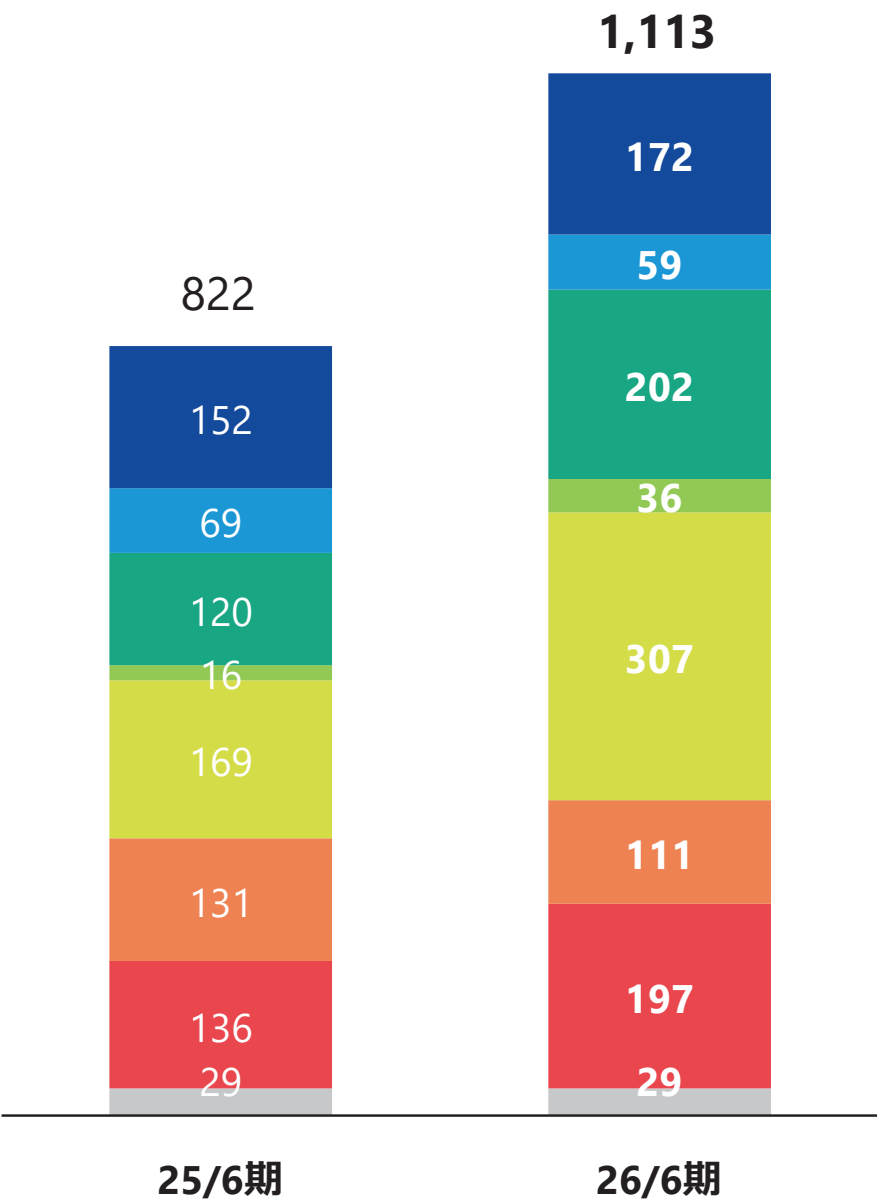
(億円)	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減	主な増減内容等	27/3期 見通し	対見通し 進捗率
収益	5,989	8,342	+ 2,353	エネルギー・総合インフラ +1,235、化学 +467、 金属・資源・リサイクル +440、リテール・コンシューマーサービス +150	—	—
売上総利益	822	1,113	+ 291	化学 +138、エネルギー・総合インフラ +82、 リテール・コンシューマーサービス +61	4,400	25%
販売費及び一般管理費 ※1	▲ 702	▲ 830	▲ 128		▲ 3,200	—
その他の収益・費用	22	▲ 1	▲ 23		50	—
金融収益・費用	▲ 1	▲ 12	▲ 11		▲ 30	—
持分法による投資損益	108	141	+ 33	海外工業団地事業、豪州公共交通事業 等	480	—
税引前利益	249	411	+ 162		1,700	24%
当期純利益	211	302	+ 91		1,300	23%
基礎的収益力 ※2	229	401	+ 172		1,650	24%
主な一過性損益	18	▲ 8	▲ 26			
非資源	19	▲ 2	▲ 21			
資源	▲ 1	▲ 6	▲ 5			

※1 販売費及び一般管理費のうち貸倒引当金繰入・貸倒償却金額は、前年同期比 ▲1億円（▲1→▲2）
※2 基礎的収益力=売上総利益 + 販管費（貸倒引当金繰入・貸倒償却を除く）+ 金利収支+ 受取配当金 + 持分法による投資損益

セグメント別 売上総利益（2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し）



(億円)



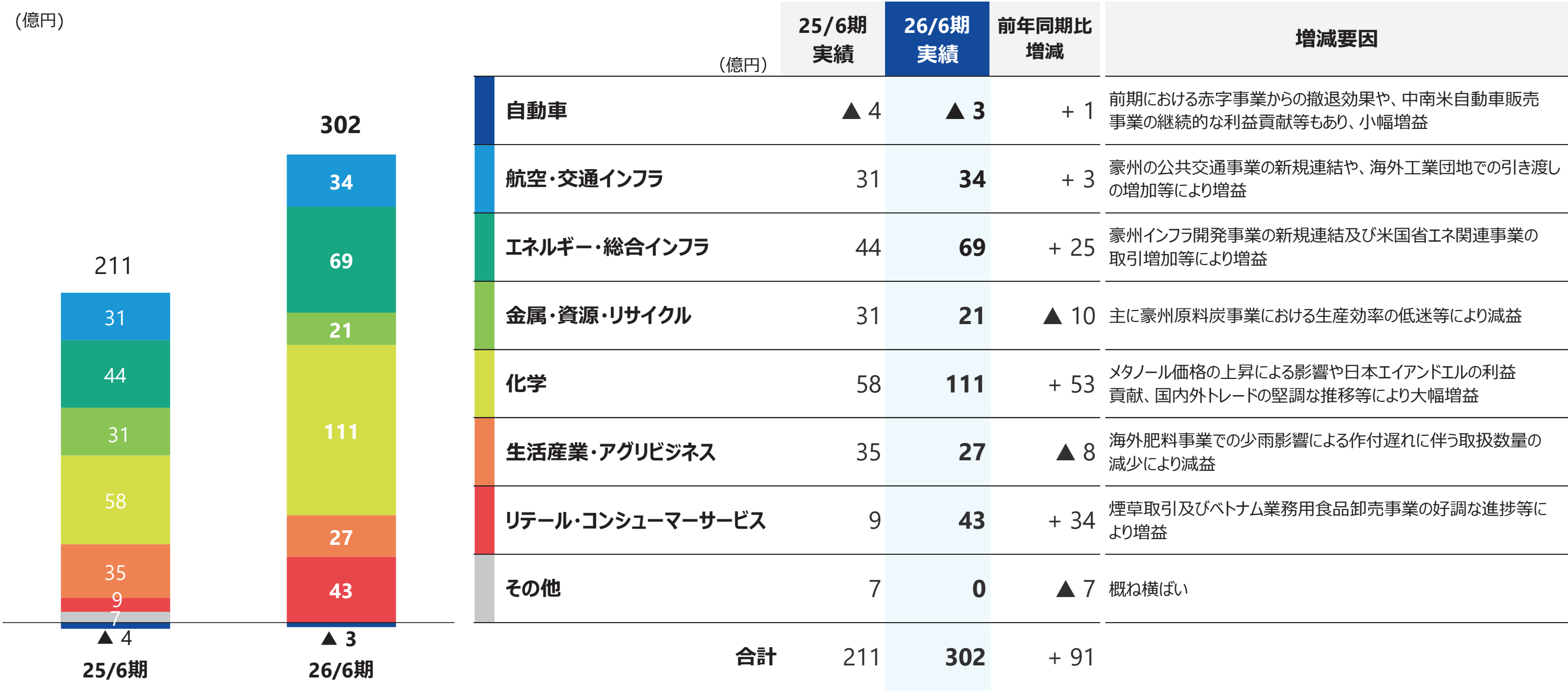
	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減	27/3期 見通し	対見通し 進捗率
自動車	152	172	+ 20	700	25%
航空・交通インフラ	69	59	▲ 10	400	15%
エネルギー・総合インフラ	120	202	+ 82	900	22%
金属・資源・リサイクル	16	36	+ 20	150	24%
化学	169	307	+ 138	850	36%
生活産業・アグリビジネス	131	111	▲ 20	500	22%
リテール・コンシューマーサービス	136	197	+ 61	750	26%
その他	29	29	0	150	19%
合計	822	1,113	+ 291	4,400	25%

※ 2026年4月1日付にて一部セグメントの区分方法の変更に伴い、前年同期の公表数値を変更

セグメント別 当期純利益（2027年3月期 第1四半期 実績）



(億円)



※ 2026年4月1日付にて一部セグメントの区分方法の変更に伴い、前年同期の公表数値を変更

セグメント別 当期純利益（2027年3月期 第1四半期 実績 及び 通期見通し）



	26/6期 実績	27/3期 見通し	対見通し 進捗率	27/3期の見方
(億円)				
自動車	▲ 3	50	—	北米や中南米での事業は概ね見通し通りに進捗 豪州中古車販売事業の立て直しを中心に構造改革に注力
航空・交通インフラ	34	190	18%	ジャパンインベストメントアドバイザー(以下「JIA」)等への新規投資からの 利益貢献に加え、航空機関連取引や防衛関連取引等の伸長を見込む
エネルギー・総合インフラ	69	280	25%	概ね見通し通り
金属・資源・リサイクル	21	220	10%	不採算となっている豪州原料炭事業の売却や、既存事業の強化による 構造改革に注力
化学	111	220	50%	各事業で計画を上回る進捗であり、引き続き堅調な推移を見込む
生活産業・アグリビジネス	27	130	21%	第2四半期以降の海外肥料事業や国内食品事業を中心とした 利益貢献を見込む
リテール・コンシューマーサービス	43	150	29%	水産事業や国内リテール事業からの利益貢献、一部資産入替を見込む
その他	0	60	—	デジタル関連会社からの利益貢献等を見込む
合計	302	1,300	23%	

キャッシュ・フローの状況（2027年3月期 第1四半期 実績）



	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
営業活動によるCF	▲ 7	▲ 573	▲ 566
投資活動によるCF	▲ 544	▲ 419	+ 125
フリーCF	▲ 551	▲ 992	▲ 441
財務活動によるCF	592	936	+ 344
基礎的営業CF ※1	321	400	+ 79
基礎的CF ※2	▲ 494	▲ 278	+ 216

当期の主な内容

営業活動によるCF

- 運転資金の増加
- 営業収入及び配当による収入
-持分法適用会社からの配当金の受取額-
25/6期：173億円 26/6期：147億円

投資活動によるCF

- 新規事業への出資等による支出
-金融ソリューション事業 (JIA)
-コスタリカ自動車販売事業

財務活動によるCF

- 借入金の調達による収入

※1 基礎的営業CF = 会計上の営業CFから運転資金増減等を控除したもの
※2 基礎的CF = 基礎的営業CF + 調整後投資CF - 支払配当金 - 自己株式取得
(調整後投資CF = 会計上の投資CFに長期性の営業資産等の増減を調整したもの)

キャッシュ・フロー・マネジメント



- 基礎的営業CFの**7割**程度を成長基盤強化のための**成長投資**(含む人材投資)、**3割**程度を**株主還元**に充当していく計画
- 新規投資は計画通り着実に実行しており、引き続き**質の高い案件**を厳選し**スピード感をもって実行**
- 中計2026では成長投資が先行する一方、中計2020-2026期間の累計で**基礎的CF黒字**を見込む

	(億円)	中計2020-2023 19/3期～24/3期 6カ年累計実績	中計2026 25/3期～27/3期 3カ年累計見通し	25/3～26/3期 2カ年累計実績	26/6期 実績	27/3期 見通し	対見通し 進捗率
キャッシュ・イン	基礎的営業CF ※1	6,020 億円	4,500 億円	2,715 億円	400 億円	1,500 億円	27%
	資産入替（回収）	4,510 億円	1,800 億円	1,080 億円	200 億円	1,000 億円	20%
キャッシュ・アウト	新規投資		▲ 6,000 億円	▲ 2,800 億円	▲ 600 億円	▲ 2,000 億円	30%
		▲ 7,095 億円					
	Capex 他		▲ 400 億円	▲ 610 億円	▲ 110 億円	▲ 250 億円	44%
	株主還元 ※2	▲ 2,040 億円	▲ 1,300 億円	▲ 985 億円	▲ 170 億円	▲ 360 億円	47%
	基礎的CF ※3	<u>1,395 億円</u>	▲ 1,400 億円	<u>▲ 600 億円</u>	▲ 280 億円	<u>▲ 110 億円</u>	—

※1 基礎的営業CF＝会計上の営業CFから運転資金増減等を控除したもの
※2 自己株式取得を含む
※3 基礎的CF＝基礎的営業CF＋調整後投資CF－支払配当金－自己株式取得（調整後投資CF＝会計上の投資CFに長期性の営業資産等の増減を調整したもの）

投資・資産入替（2027年3月期 第1四半期）



投資合計	600億円				
主な内訳	エッセンシャルインフラ	150億円	米国エネルギーソリューション事業	等	
	フードバリューチェーン	5億円			
	エネルギー・ 素材ソリューション	10億円			
	その他	435億円	コスタリカ自動車販売事業 金融ソリューション事業 (JIA)	イノベーション投資 その他	等
資産入替額合計	200億円				
主な内訳	国内商業開発運営事業				等

●自動車本部 ●航空・交通インフラ本部 ●エネルギー・総合インフラ本部 ●金属・資源・リサイクル本部 ●化学本部 ●生活産業・アグリビジネス本部 ●リテール・コンシューマーサービス本部 ●その他

「双日らしい成長ストーリー」の実現

双日らしい成長ストーリーの実現を通じ、ポートフォリオを変革し、Next Stageへ

新規投資の拡大

- 持続的成長期待の高い事業領域の獲得・拡大
- 競争優位を活かす事業領域への継続投資
- 双日らしい事業群・カタマリを多数創出

既存事業を磨く

- 既存の強みを活用し、機能を拡充
収益力の更なる引き上げ
- 外部パートナーとの共創
新たな価値の提供・事業を拡大
- 赤字事業・不振事業の
徹底的な収益改善と見極め

- シェアアウトによるパートナーとの共創で勝ち筋を強化できる事業は事業再編
- 事業の改善、勝ち筋の確立が見込めない事業は、撤退を含めた見直しを行い、構造改革を推進

外部パートナーとの共創

- ベストオーナーとなりうる外部パートナーへ既存事業の一部をシェアアウトしつつ、双日の強みである機能の提供を継続
- パートナーと共に事業を成長させ規模を拡大し、**持続的な成長を図る体制へ**

船舶事業

北米貨車リース事業

国内商業開発運営事業

事業見極め（構造改革）

- 事業の特性、当社機能に応じて、見極め・撤退を決定
- 出口戦略に基づく取り組みが進捗中

豪州中古車事業

国内ディーラー事業

豪州原料炭事業

双日らしい成長ストーリー ① ジャパンインベストメントアドバイザーとの共創

双日とJIAの案件組成力・販売ネットワークを掛け合わせ、 収益の規模と率の拡大を実現



Next Stage

ROE **15%**



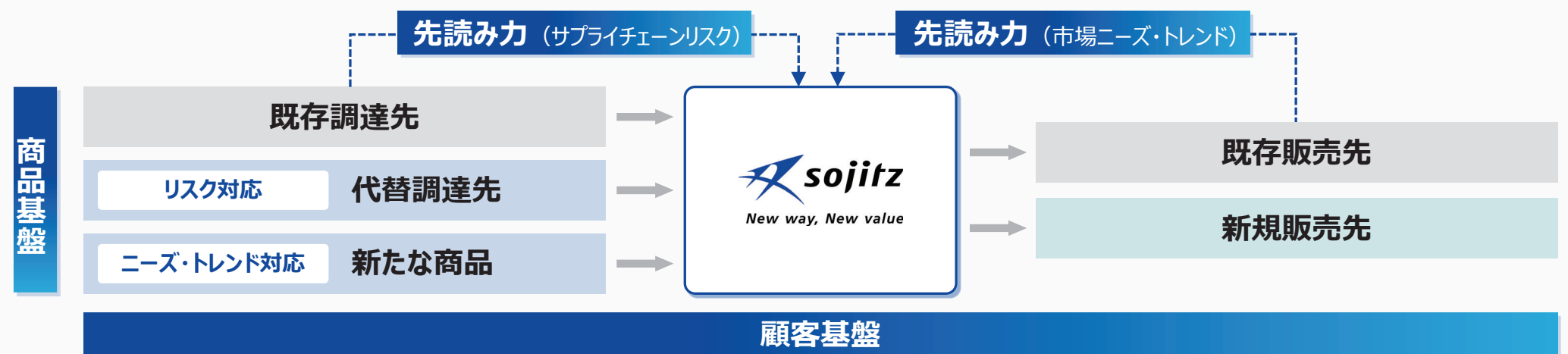
双日らしい成長ストーリー ②サプライチェーンの変化を捉えるトレード事業

- サプライチェーンの変化や市場ニーズを捉え、**資本効率の高いトレード機能を強靱化**。足元の事業環境下でも成果を生む
- 「必要なモノ・サービスを必要なところに届ける」という使命の下、**クリティカルミネラルの安定的な供給を拡大**

エネルギー・素材ソリューション

強靱なトレード機能を構築

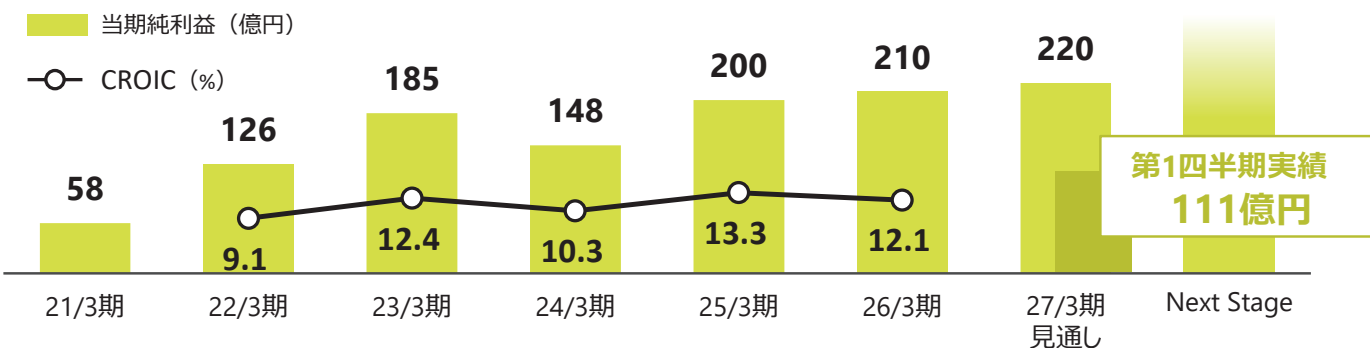
調達先・販売先の多角化と
優位性・耐久性の高いトレード商権の積上げ



化学

中東情勢の影響を受けたサプライチェーン分断下でも、
トレード強靱化の取り組みが奏功

実績及びNext Stageに向けた利益見通し



※ 25/3期以前については、旧組織の実績

金属・資源・リサイクル

2026年7月 ガリウム生産事業への投資を最終決定

- 半導体需要の高まりを背景に、幅広い用途で全世界で需要増加が見込まれる
- 世界最大級のアルミナ生産者Alcoaの精錬所内に生産設備を建設し、製造

日本・豪州・米国の連携プロジェクト

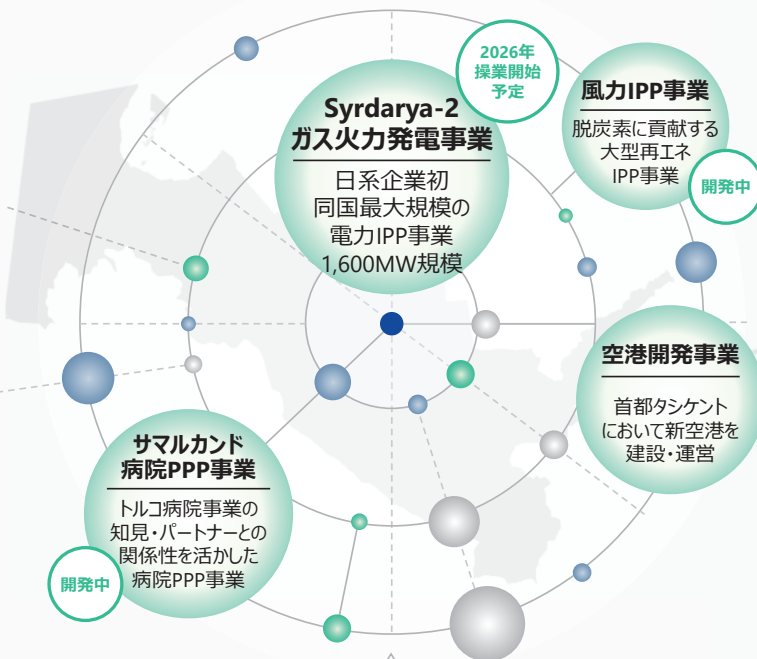


双日らしい成長ストーリー ③ウズベキスタンでの事業進捗

- ウズベキスタンにおける旺盛なインフラ需要を先読みし、長年培ってきた信頼と知見やネットワークで**成長市場を着実に捉える**
- 成長領域における**長期の安定した規模感のある収益機会**を積み上げていく

エッセンシャルインフラ

ウズベキスタンにおける
公共事業に関する取組み



- 中央アジア最大の人口
- 高い経済成長率

2030年までの政府目標

**300億ドル超の
PPP投資誘致**

年平均成長

6.5%超

▶▶▶ **旺盛なインフラ需要**

開発フェーズ

運営フェーズ



首都タシケント 空港開発・運営 事業権を取得

- 年間**2,000万人**の旅客受入能力
- **中央アジア最大級**のハブ空港
- 2030年開港予定
- 事業規模**3,700億円**

優良パートナーとの連携

世界のインフラ・空港開発・運営で実績のある各種パートナーと事業を推進

**Vision International
Investment Company**

サウジアラビアを代表する
投資・インフラ開発会社

仁川国際空港公社

世界有数の空港運営会社

Larsen & Toubro

インド最大の建設・
エンジニアリング会社

地上支援
業務

貨物、
物流

機内食

物販、
飲食、
免税

周辺事業
への拡大



航空会社との
幅広いネットワークを活かして
**エアライン誘致、
路線網の拡充**



双日グループの事業基盤を
活かし、**地上支援業務や
構内商業等を含めた
空港周辺事業への展開**

今後のプロジェクトの拡がり



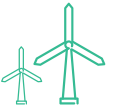
空港



ガス火力発電



病院



風力発電

勝ち筋

開発

過去の実績に基づく、
政府・パートナーとの強固な信頼関係

運営

双日グループの事業基盤を活かした
事業運営・サービス拡大

エッセンシャルインフラ領域における多面展開により、
同国におけるプレゼンスの向上

- 累進的かつ予見性のある安定的な配当方針により前期比+9%の増配（165円⇒180円）

株主還元方針

※「中期経営計画2026」再掲

株主還元

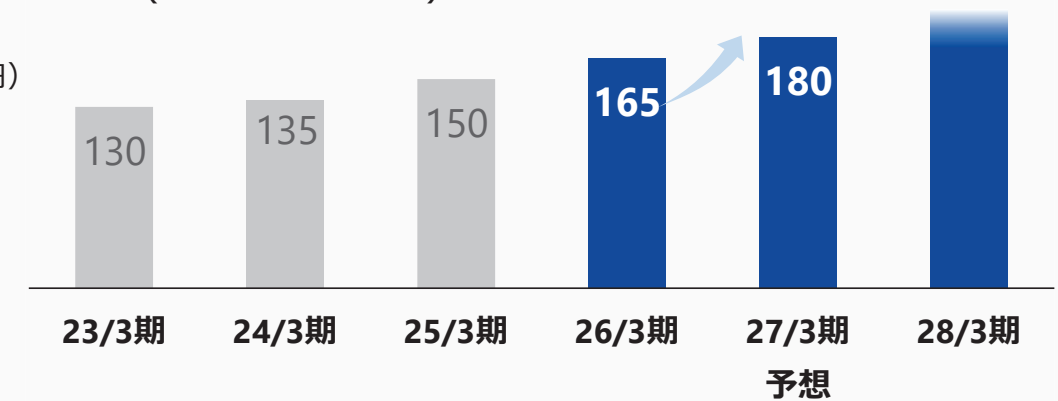
基礎的営業CF(3カ年累計)の
3割程度を株主還元に充当

- 株主資本DOE**4.5%**とした
累進的な配当方針
- 機動的な自己株式の取得

一株当たり配当金

- 累進的かつ予見性ある安定的な配当を実現
- 27/3期 配当予想額 **180円**（前期比+9%増配）

■ 一株当たり配当金（円）



自己株式取得

- 26/3期は100億円の自己株式を取得
（280万株 / 取得期間：2025年5月2日～2025年7月31日）
- 2025年8月29日に**1,500万株**の自己株式を消却
（発行済株式総数：2.25億株 → 2.1億株）

■ 自己株式取得の状況
（拠出ベース）

23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
0億円	426億円	240億円	100億円

商品、為替、金利の市況実績・前提



	2025年度 市況実績 (4-6月平均)	2026年度 市況前提 (年平均)	2026年度 市況実績 (4-6月平均)	直近市況実績 (26/7/27時点)
石炭（原料炭） ※1	US\$184/t	US\$210/t	US\$238/t	US\$222/t
石炭（一般炭） ※1	US\$100/t	US\$120/t	US\$135/t	US\$130/t
原油（Brent）	US\$66.7/bbl	US\$70/bbl	US\$96.7/bbl	US\$88.4/bbl
為替 ※2	JPY143.8/US\$	JPY150/US\$	JPY160.7/US\$	JPY163.7/US\$
金利（TIBOR）	0.78%	1.45%	1.30%	1.46%

※1 石炭の市況実績については、一般的な市場価格であり、当社の販売価格とは異なる
※2 為替の収益感応度（米ドルのみ）は、JPY1/US\$ 変動すると、売上総利益で年間8億円程度、当期純利益で年間3億円程度、自己資本で20億円程度の影響

資料 | 2

セグメント情報

※ 2026年4月1日付にて一部セグメントの区分方法の変更に伴い、前期の公表数値を変更しております

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	152	172	+20
販管費	▲ 146	▲ 169	▲ 23
持分法投資損益	2	6	+4
当期純利益	▲ 4	▲ 3	+1
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,485	3,706	+221

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 前期における赤字事業からの撤退効果
- 中南米自動車販売事業は着実に進捗

27/3期の見方
見通し 50億円 進捗率 -%

- 北米や中南米での事業は概ね見通し通りに進捗
- 豪州中古車販売事業の立て直しを中心に構造改革に注力

〔既存事業の立て直しの状況〕
(豪州中古車販売事業)

- 中東情勢による燃料価格上昇、金利上昇による消費者の購買力低下等により、中古車販売台数が落ち込む
- 立て直しに取り組む販売拠点における利益率は改善傾向
引き続き、オペレーション改善に取り組む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	▲ 53億円	50億円	… 150億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	4.1%	8.0%	… 8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

中南米自動車販売事業 利益目標 中計 2026 50億円 Next Stage 100億円

- > 勝ち筋

周辺地域に根差し培った人材とノウハウをデコに成長力を持つニッチ市場で、地域ドミナントの構築に向けリソースを集中投下し、広範なバリューチェーンで優位性を築く
- > 取組状況

 - プエルトリコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラでの事業経営を通じて獲得した知見・経験・人材を活用し、パナマでKia、Mazda、現代を中心とした自動車販売事業を展開
 - 知見のある中南米地域でのカタマリ構築の取り組みとして、コスタリカのマルチディストリビューターへ出資を実行

主要事業の状況（実力値ベース）

(億円)	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	主な展開国
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
自動車販売事業（地域別）												
-日本・アジア地域	▲ 3	▲ 2	▲ 1	▲ 4	▲ 10	1	—	—	—	1	+4	日本、フィリピン、パキスタン 等
-大洋州地域	▲ 4	▲ 3	▲ 5	▲ 5	▲ 17	▲ 6	—	—	—	▲ 6	▲2	豪州 等
-北米地域	6	3	9	8	26	6	—	—	—	6	0	米国、プエルトリコ 等
-中南米地域	7	16	15	15	53	8	—	—	—	8	+1	パナマ、ブラジル、アルゼンチン 等
-欧州地域	▲ 3	0	0	1	▲ 2	▲ 1	—	—	—	▲ 1	+2	ノルウェー、ウクライナ 等
（一過性損益）	0	15	0	▲ 70	▲ 55	0	—	—	—	0	0	
本部 当期純利益	▲ 4	12	6	▲ 67	▲ 53	▲ 3	—	—	—	▲ 3	+1	

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	69	59	▲10
販管費	▲ 46	▲ 50	▲4
持分法投資損益	14	33	+19
当期純利益	31	34	+3
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	4,539	4,738	+199

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 豪州公共交通事業の新規連結や、海外工業団地事業での引き渡し面積の増加等により増益

27/3期の見方
見通し 190億円 進捗率 18%

- 概ね見通し通り
- 豪州公共交通事業やJIAへの新規投資からの利益貢献
- 航空機関連取引や防衛関連取引等の伸長を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	155億円	190億円	… 250億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	6.2%	6.0%	… 8.0%

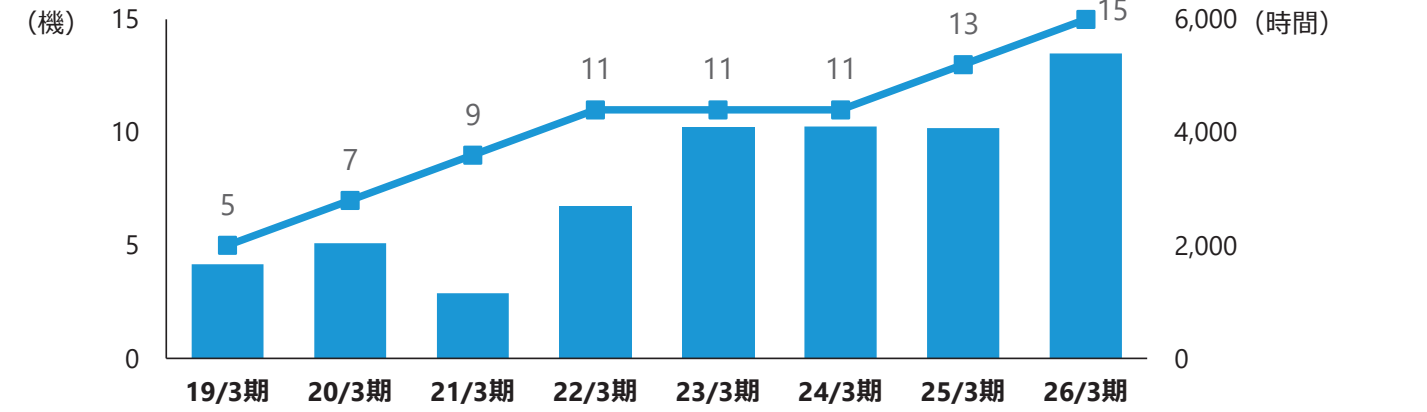
双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

航空関連事業

- > 勝ち筋
- ワールドクラスのパートナー群との多岐に渡る事業基盤に高度な専門人材を掛け合わせ事業を展開。変化する航空市場の先を読み、次なる収益機会を創出し続ける

- > 取組状況
- 代理店ビジネスを起点に、アセットビジネス、更にオペレーションビジネスへ事業展開
 - 防衛関連の需要の取り込み
 - ビジネスジェット共同保有プロジェクトの機体数拡大

ビジネスジェット事業 管理機体数及び総フライト時間推移





主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
（億円）														
輸送機アセマネ事業	－	12	12	10	17	51	8	－	－	－	8	▲4	航空機代理店事業、 航空機リース事業、船舶事業 等	－
ビジネスジェット事業	－	2	7	8	3	20	1	－	－	－	1	▲1	機体売買支援、運航管理、 チャーター、 ビジネスジェット共同保有事業	－
豪州・アジア鉄道事業	－	▲ 1	1	▲ 1	0	▲ 1	7	－	－	－	7	+8	アジア交通EPC（インド・インドネシア）、 豪州公共交通事業	－
産業都市インフラ事業														
-PT. Puradelta Lestari Tbk	25%	8	2	2	6	18	19	－	－	－	19	+11	住宅・工業・商業団地の 総合都市インフラ開発、運営 （インドネシア）	12月
双日エアロスペース	100%	5	10	5	11	31	7	－	－	－	7	+2	航空・防衛産業関連機器の 輸出入・販売	3月
（一過性損益）		0	10	0	▲ 5	5	0	－	－	－	0	0		
本部 当期純利益		31	74	19	31	155	34	－	－	－	34	+3		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	120	202	+82
販管費	▲ 121	▲ 184	▲ 63
持分法投資損益	45	56	+11
当期純利益	44	69	+25
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	7,386	7,578	+192

(当期純利益)
前年同期比増減要因

- 豪州インフラ開発事業の新規連結
- 米国省エネ関連事業の取引増加

27/3期の見方
見通し 280億円 進捗率 25%

- 米国省エネ関連事業の伸長、豪州インフラ開発事業からの堅調な利益貢献を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	323億円	280億円	… 500億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	5.7%	4.0%	… 6.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

エネルギーソリューション事業	利益目標	中計 2026	100億円	Next Stage	200億円
> 勝ち筋	電力・インフラ事業で培った知見・人材を活かし、米豪の省エネやデータセンター関連サービスへシフトし、新たな収益機会を獲得。 ロールアップ投資で機能・顧客基盤を拡張し、事業規模を拡大				
> 取組状況	● 高まるエネルギー需要と共に、省エネルギーのニーズは着実に伸長。 エネルギーソリューション事業確立に向けた強固な基盤構築を推進し、豪州でも同様に展開 ● 米国においてボルトオン投資を実行し、電気工事・制御システム系サービスの機能を強化				
豪州インフラ開発事業	利益目標	中計 2026	50億円	Next Stage	100億円
> 勝ち筋	豪州PPP領域において、高度専門人材による質の高い、効率的なインフラ事業の組成、価値の提供、安定した事業運営を実現し、その実績と信頼により更なる事業機会を獲得する。豪州外への展開により事業基盤を拡張し、成長を加速				
> 取組状況	● 26/3期中より、Capella社の連結取込を開始。豪州国内の複数のPPP案件の取組みを検討中。 これに加えて、海外事業展開についても協議中				



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
(億円)															
インフラ・PPP事業															
-Sojitz Capella Corporation B.V.	95.5%	—	—	3	23	26	13	—	—	—	13	+13	インフラ開発、財務アドバイザー、 資産管理業務（豪州）	12月	
-Sojitz Hospital PPP Investment B.V.	100%	5	4	5	11	25	5	—	—	—	5	0	病院施設運営事業への投融資 （トルコ）	12月	
エネルギーソリューション事業															
-省エネ関連事業	—	11	23	18	24	76	24	—	—	—	24	+13	海外省エネ関連事業 （北米、豪州）	—	
-電力小売事業	—	0	3	2	4	9	5	—	—	—	5	+5	電力小売事業 （スペイン、アイルランド、豪州）	—	
-再生可能エネルギー事業	—	27	8	▲ 18	12	29	29	—	—	—	29	+2	国内外再生可能エネルギー事業	—	
-火力発電事業	—	▲ 3	3	7	▲ 2	5	6	—	—	—	6	+9	米国、中東 等	—	
双日マシナリー	100%	4	14	11	15	44	6	—	—	—	6	+2	一般産業機械類の輸出入・販売	3月	
エルエヌジージャパン	50%	29	10	14	26	79	13	—	—	—	13	▲ 16	LNG事業及び関連投融資	3月	
（一過性損益）		0	0	120	20	140	0	—	—	—	0	0			
本部 当期純利益		44	35	134	110	323	69	—	—	—	69	+25			

※ 再生可能エネルギー事業、火力発電事業、省エネ関連事業は、関連の主要事業会社の損益合算値を記載
※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益等から一過性損益を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

(億円)	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	16	36	+20
販管費	▲ 33	▲ 36	▲ 3
持分法投資損益	38	32	▲ 6
当期純利益	31	21	▲ 10
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	4,850	4,820	▲ 30

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 原料炭市況は上昇したものの、生産効率の低下により減益

〔原料炭市況〕
前年同期比 +\$54/t
25/6期 \$184/t ⇒ 26/6期 \$238/t

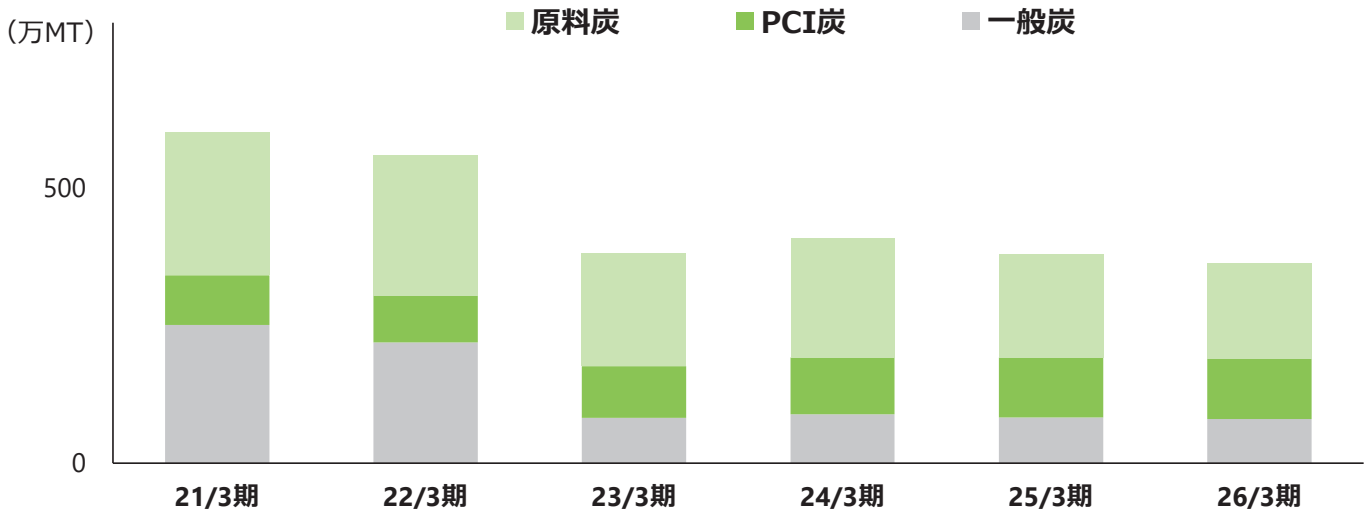
27/3期の見方
見通し 220億円 進捗率 10%

- 不振事業を含む資産入替を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	38億円	220億円	350億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	7.7%	15.0%	12.0%

石炭販売量推移



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
(億円)														
Sojitz Development Pty. Ltd.	100%	▲ 8	▲ 2	▲ 4	1	▲ 13	▲ 4	—	—	—	▲ 4	+4	石炭鉱山への投資（豪州）	3月
メタルワン	40%	24	26	31	28	109	28	—	—	—	28	+4	鉄鋼関連商品の輸出入、 外国間及び国内販売等（日本）	3月
上流権益	—	9	21	23	6	59	0	—	—	—	0	▲9	アルミナの製造、アルミナ生産会社への投資 （豪州） ニオブ生産会社への投資・管理（ブラジル）等	—
（一過性損益）		0	0	0	▲ 130	▲ 130	▲ 5	—	—	—	▲ 5	▲5		
本部 当期純利益		31	38	48	▲ 79	38	21	—	—	—	21	▲10		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	169	307	+138
販管費	▲ 94	▲ 119	▲25
持分法投資損益	0	0	0
当期純利益	58	111	+53
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,975	4,351	+376

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- メタノール価格の上昇による影響や日本エイアンドエルの利益貢献、国内外トレードの堅調な推移等により大幅増益

27/3期の見方
見通し 220億円 進捗率 50%

- 各事業で計画を上回る進捗
- 引き続き海外メタノール事業や、トレードビジネスの堅調な推移を見込む
- 中東情勢などの影響を見極めるため、現時点では見通しを据え置く

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	210億円	220億円	300億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	12.1%	10.0%	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

化学事業

利益目標 中計 2026 220億円 Next Stage 300億円

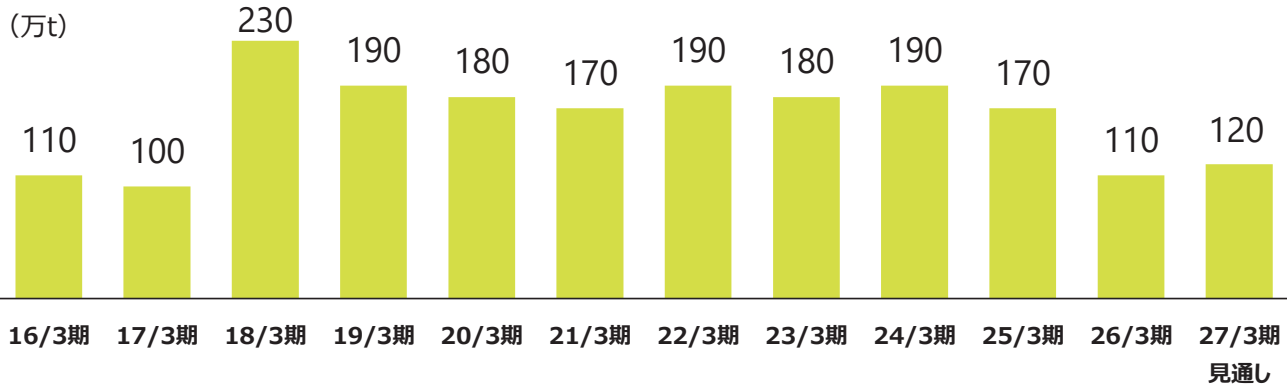
> 勝ち筋

先読み力と顧客基盤を活かしトレード機能を強靱化することで安定収益を創出
トレードで得た知見を基に投資を拡大し、トレードとの相乗効果で競争力を高める

> 取組状況

- 日本エイアンドエルの連結子会社化により、新たに製造事業に参入
- レアアースなど時代に先駆けて新たな供給源の確保といった多角化を促進
- 中東情勢の影響を受けたサプライチェーン分断下でも、トレード強靱化の取り組みが奏功

メタノール販売量推移



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
(億円)														
PT. Kaltim Methanol Industri	85%	11	10	9	1	31	35	—	—	—	35	+24	メタノールの製造・販売（インドネシア）	3月
日本エイアンドエル	66.5%	—	7	8	1	16	10	—	—	—	10	+10	SBRラテックスならびにABS樹脂等の製造・販売・研究開発	3月
双日プラネット	100%	2	2	4	5	13	7	—	—	—	7	+5	合成樹脂原料・製品等の貿易・販売	3月
Sojitz SOLVADIS GmbH	100%	5	2	2	1	10	12	—	—	—	12	+7	欧州地域における化学品の貿易・販売	3月
トレード（国内拠点）	—	13	19	29	21	82	35	—	—	—	35	+22	基礎化学品、機能化学品、環境関連商材 工業塩、レアアース、鉍産物等	—
トレード（海外拠点）	—	8	9	10	11	38	16	—	—	—	16	+8	海外現地法人における化学品全般・ 合成樹脂・鉍産物トレード事業	—
（一過性損益）		10	▲ 5	0	0	5	▲ 5	—	—	—	▲ 5	▲ 15		
本部 当期純利益		58	48	61	43	210	111	—	—	—	111	+53		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

(億円)	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	131	111	▲20
販管費	▲ 81	▲ 76	+5
持分法投資損益	6	7	+1
当期純利益	35	27	▲8
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,341	3,481	+140

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 海外肥料事業での少雨影響による作付遅れに伴う取扱数量の減少等により減益

27/3期の見方
見通し 130億円 進捗率 21%

- 海外肥料事業や国内食品事業を中心とした利益貢献を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	85億円	130億円	200億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	6.1%	10.0%	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

東南アジア肥料事業

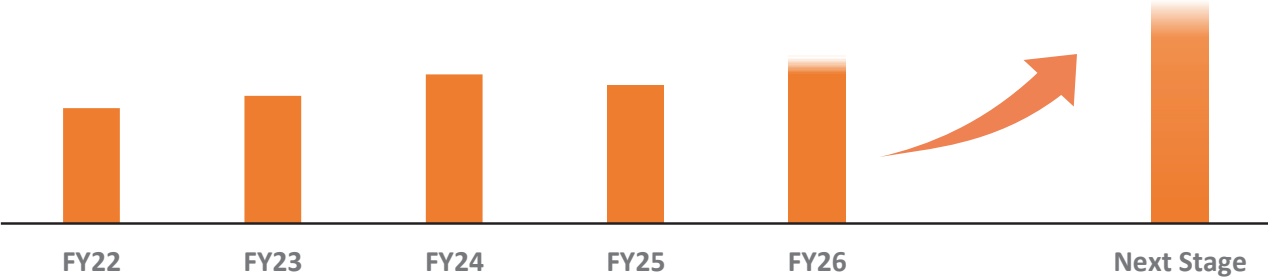
> 勝ち筋

タイ・フィリピン・ベトナムにおける高度化成肥料事業の競争優位を基盤に、既存事業の強化・成長および横展開により販売数量の増加を図る

> 取組状況

- 原料購買力の強化および製品品質・製造効率の向上
- データ活用による販売力強化および営業高度化

肥料販売数量推移（3社合計）



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計					
(億円)																
肥料事業																
-Thai Central Chemical Public Company(TCCC)	95.3%	28	18	7	7	60	21	—	—	—	21	▲7	肥料の製造・販売（タイ）	3月		
-Atlas Fertilizer Corporation(AFC)	100%	5	2	1	2	10	2	—	—	—	2	▲3	肥料の製造・販売、 輸入肥料販売（フィリピン）	3月		
-Japan Vietnam Fertilizer Company(JVF)	75%	4	1	1	2	8	1	—	—	—	1	▲3	肥料の製造・販売（ベトナム）	3月		
双日建材	100%	3	3	3	1	10	2	—	—	—	2	▲1	総合建材販売	3月		
Saigon Paper	97.7%	▲ 1	▲ 1	1	1	0	0	—	—	—	0	+1	製紙事業（ベトナム）	12月		
双日食料	100%	7	7	6	5	25	10	—	—	—	10	+3	砂糖・糖化製品・乳製品・農畜水産物・ 加工食品・その他各種食料品の販売	3月		
(一過性損益)		0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0				
本部 当期純利益		35	23	11	16	85	27	—	—	—	27	▲8				

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの

※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの

※ 比率は、26/6末時点のものを記載

※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：フジ日本(株)（持分）

※ 肥料事業の特徴は以下の通り

TCCC：最終需要家のコメ農家は雨季が施肥タイミングとなり、上期に利益が偏重

AFC：主要作物のコメ、コーンは二期作のため、上期・下期共に肥料需要がある

JVF：主要作物のコメ、コーヒー、サトウキビ向けを中心に上期・下期共に肥料需要がある

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	136	197	+61
販管費	▲ 122	▲ 133	▲ 11
持分法投資損益	3	6	+3
当期純利益	9	43	+34
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	6,484	5,919	▲565

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 煙草取引及びベトナム業務用食品卸売事業における販売数量増加により増益

27/3期の見方
見通し 150億円 進捗率 29%

- 国内リテール事業および水産事業からの堅調な利益貢献を見込む
- 一部資産入替を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	112億円	150億円	… 300億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	3.6%	6.0%	… 8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

ベトナムリテール事業	利益目標	中計 2026 30億円	Next Stage 100億円
------------	------	--------------	------------------

- > 勝ち筋
- 市場成長が見込まれる同領域において、卸売から総菜、倉庫事業などリテールバリューチェーンを強化

- > 取組状況
- 事業全般での抜本的なアプローチの見直しを継続中
 - ベトナム業務用食品卸売事業では、利益率改善等により業績が改善

水産事業	利益目標	中計 2026 50億円	Next Stage 80億円
------	------	--------------	-----------------

- > 勝ち筋
- 調達・加工・販売機能を軸に国内事業の収益力を高めるとともに伸長する海外市場での取組を強化

- > 取組状況
- 国内水産卸売事業、水産加工販売事業は引き続き堅調に推移

主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
(億円)														
ベトナムリテール事業	－	1	1	3	2	7	8	－	－	－	8	+7	食品・消費財卸売、ミニストップベトナム、 四温度帯物流、惣菜加工品製造 等	－
-卸売事業	－	3	2	3	3	11	9	－	－	－	9	+6	食品・消費財卸売	－
-小売事業	－	▲ 1	▲ 1	▲ 1	0	▲ 3	▲ 1	－	－	－	▲ 1	0	ミニストップベトナム	－
国内リテール事業	－	9	9	11	7	36	8	－	－	－	8	▲1	ロイヤルHD、双日ロイヤルインフライトケイタリン グ、JALUX等	－
水産事業	－	5	9	24	8	46	7	－	－	－	7	+2	マリンフーズ、トライ産業、大連翔祥、 双日ツナファーム鷹島、Sushi Avenue	－
-マリンフーズ	100%	2	7	13	2	24	2	－	－	－	2	0	水産食品加工会社	3月
-トライ産業	100%	2	3	5	3	13	3	－	－	－	3	+1	冷凍マグロ加工販売会社	3月
国内不動産事業	－	2	3	3	2	10	1	－	－	－	1	▲1	商業施設運営事業、バリューアップ事業等	－
双日ファッション	100%	2	2	1	1	6	2	－	－	－	2	0	綿・化繊繊維物等のプリント、 無地・先染等の企画加工卸売販売	3月
（一過性損益）		5	0	5	0	10	0	－	－	－	0	▲5		
本部 当期純利益		9	10	45	48	112	43	－	－	－	43	+34		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は、26/6末時点のものを記載
※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：ロイヤルホールディングス(株)（持分）

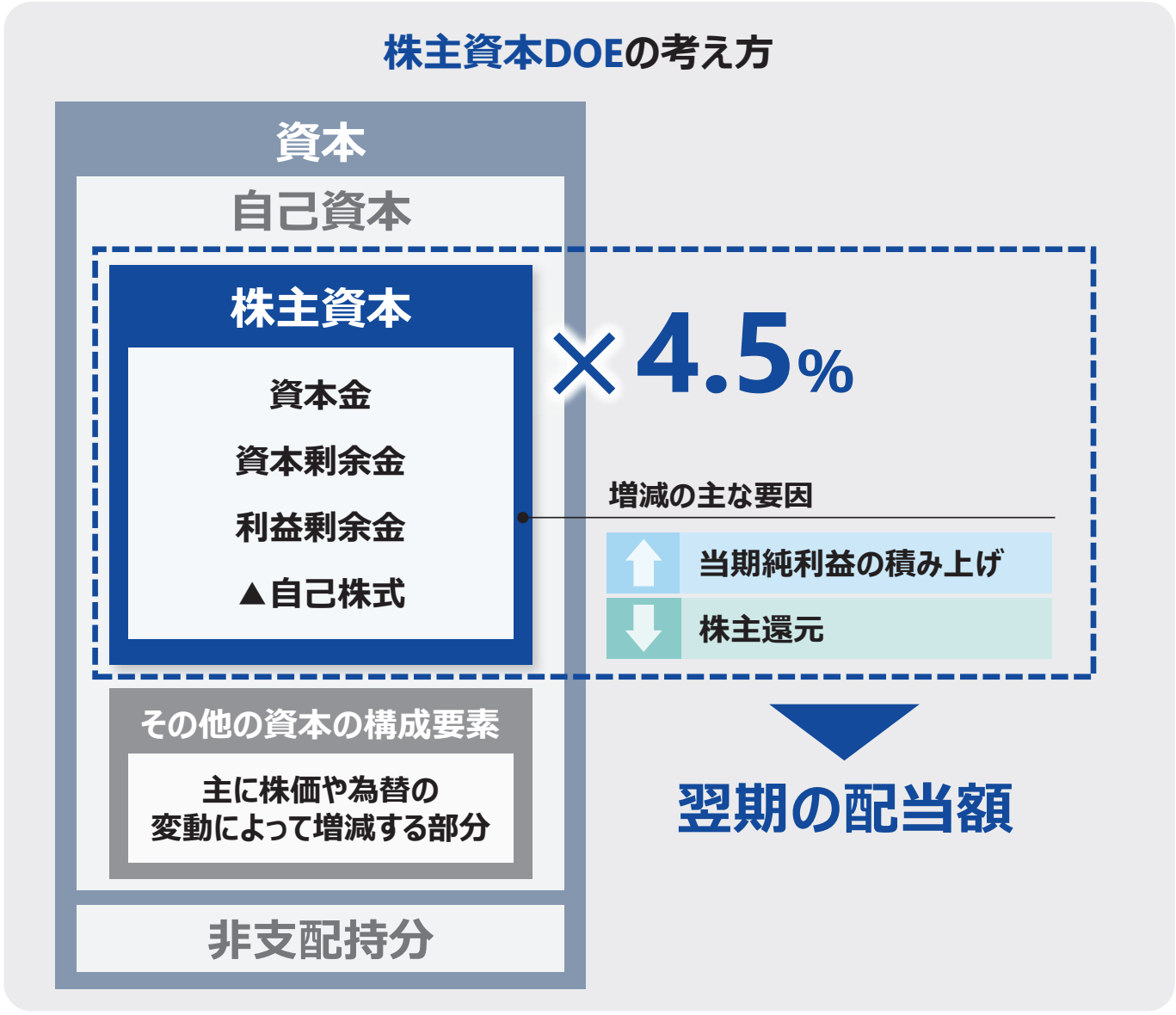
補足データ集

株主還元方針

※「中期経営計画2026」再掲

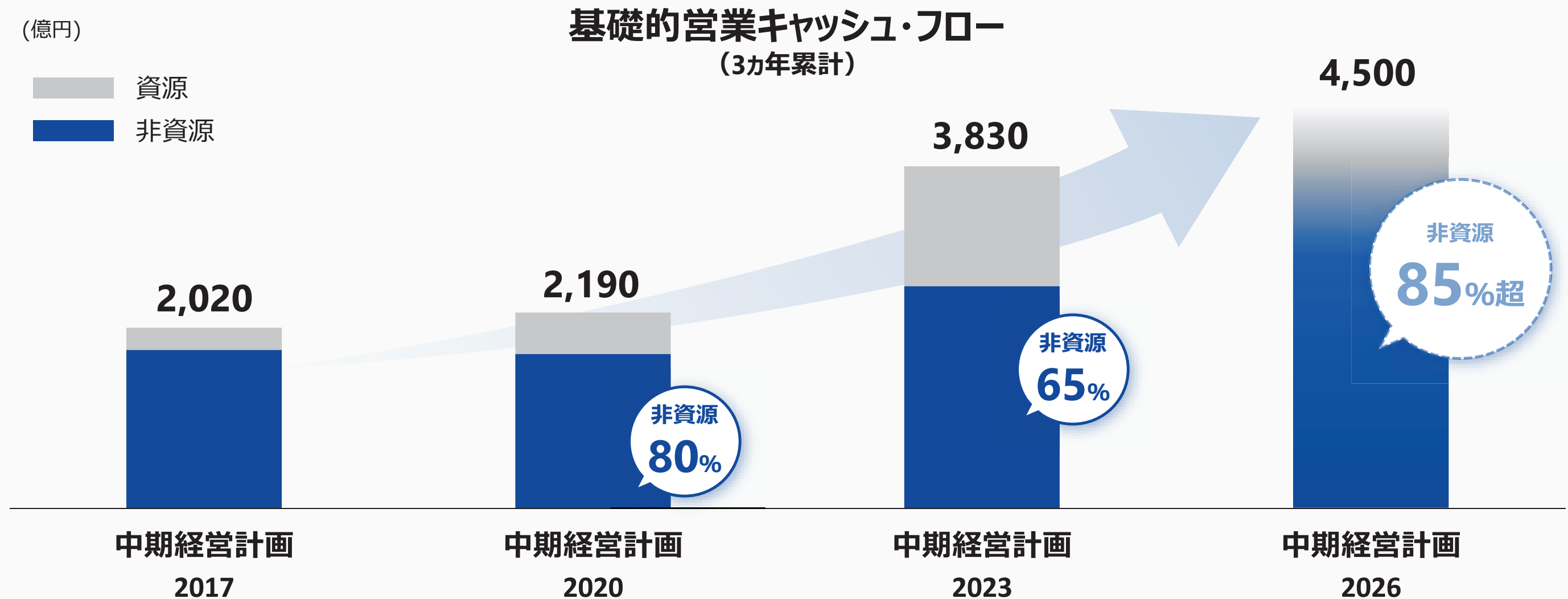
基礎的営業CF(3カ年累計)の**3割程度**を株主還元に充当

- 株主資本DOE4.5%とした**累進的な配当方針**
- 機動的な**自己株式の取得**



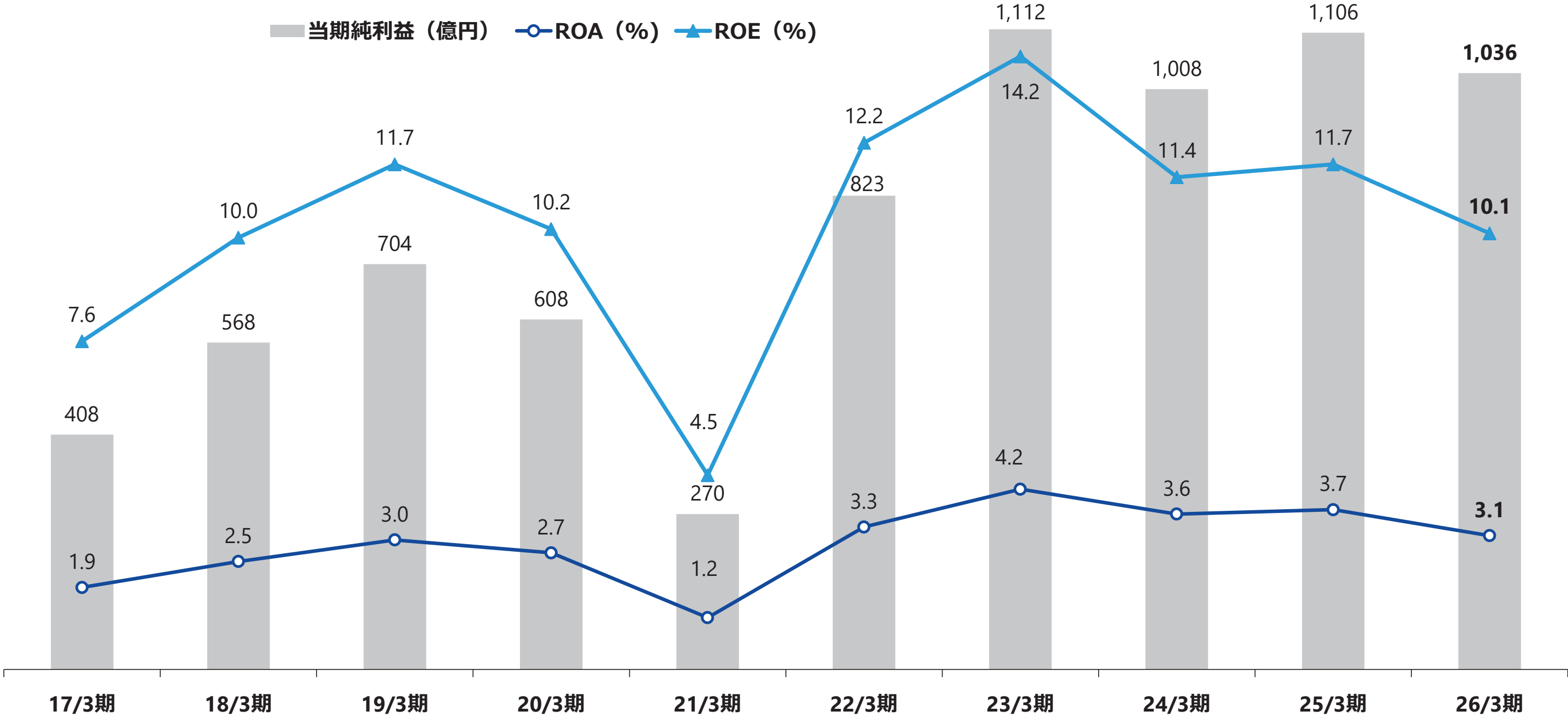
基礎的営業キャッシュ・フロー（資源・非資源）

- キャッシュ・フローを稼ぐ力のトラックレコードは、質・量ともに着実に成長
- 新規投資と資産入替によるポートフォリオの入替に伴い、安定的な収益源となる非資源から稼ぐ比率が上昇
- 今後も基礎的営業キャッシュ・フローを持続的に成長させ、成長投資原資と株主還元力の両輪を拡張させていく

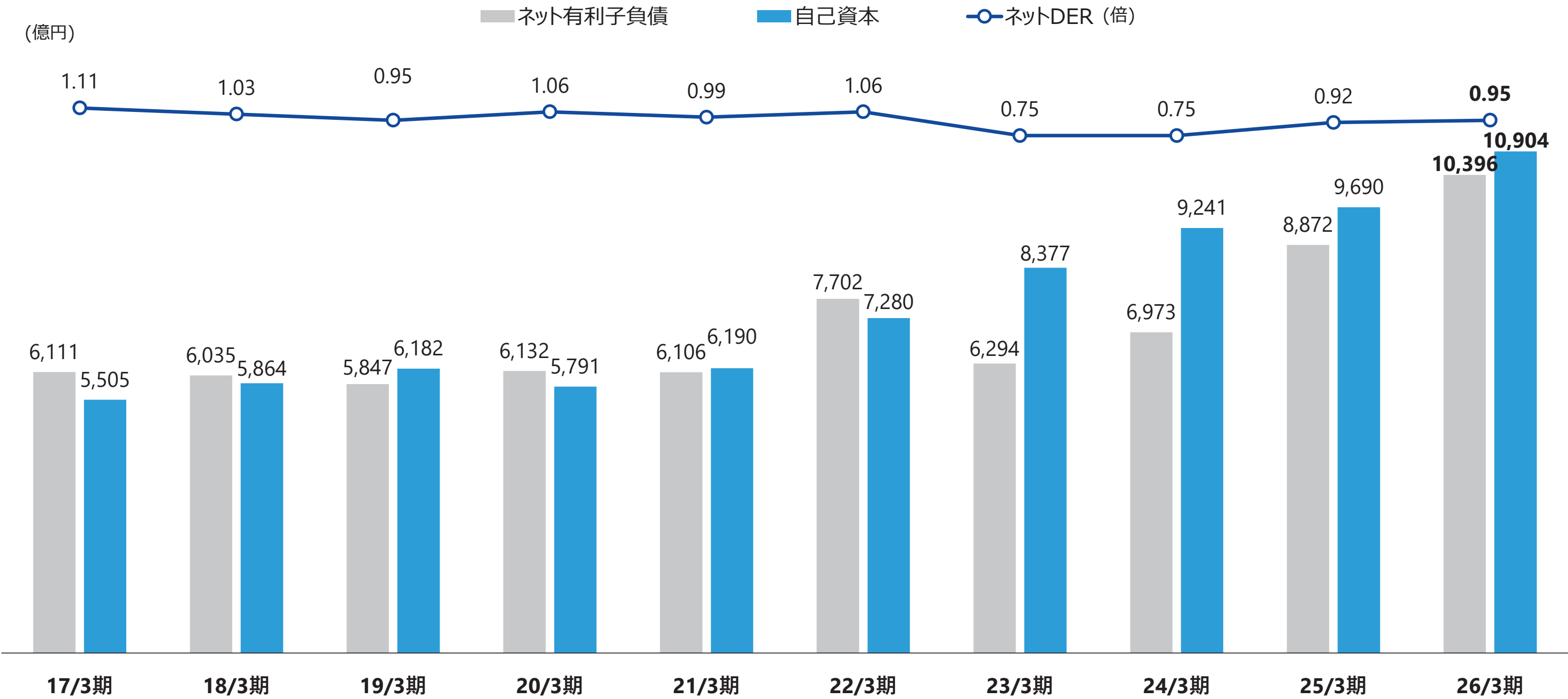


※ 基礎的営業CF = 会計上の営業CFから運転資金増減等を控除したもの

	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績
(億円)										
売上高(日本基準)	37,455	42,091	—	—	—	—	—	—	—	—
収益	15,553	18,165	18,562	17,548	16,025	21,008	24,798	24,146	25,097	27,574
売上総利益	2,007	2,324	2,410	2,205	1,881	2,713	3,376	3,260	3,468	3,675
営業活動に係る利益	516	598	—	—	—	—	—	—	—	—
持分法による投資損益	127	251	278	249	148	380	273	436	496	440
税引前利益	580	803	949	755	374	1,173	1,550	1,255	1,353	1,156
当期純利益	408	568	704	608	270	823	1,112	1,008	1,106	1,036
基礎的収益力	542	908	932	684	384	1,313	1,451	1,217	1,227	1,024
ROA	1.9%	2.5%	3.0%	2.7%	1.2%	3.3%	4.2%	3.6%	3.7%	3.1%
ROE	7.6%	10.0%	11.7%	10.2%	4.5%	12.2%	14.2%	11.4%	11.7%	10.1%



(億円)	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績
流動資産	12,298	13,763	12,677	12,175	11,954	13,942	14,445	14,625	15,751	19,284
現金及び現金同等物	3,086	3,052	2,857	2,727	2,876	2,717	2,473	1,963	1,923	2,451
定期預金	57	28	29	74	101	108	70	131	69	109
営業債権及びその他の債権	5,635	5,499	6,907	6,381	6,362	7,915	7,949	8,270	8,998	10,924
棚卸資産	2,713	3,960	2,206	2,134	1,879	2,328	2,810	2,883	2,759	3,405
その他	807	1,224	678	859	736	874	1,143	1,378	2,002	2,395
非流動資産	9,087	9,741	10,294	10,128	11,047	12,675	12,163	14,244	15,122	17,196
有形固定資産	1,722	1,721	1,929	1,580	1,913	2,015	1,954	2,343	2,592	2,685
リース資産（使用权資産）	-	-	-	741	728	697	656	975	907	935
のれん	576	658	662	665	672	825	857	1,326	1,513	1,797
無形資産	341	441	491	434	615	850	708	922	1,139	1,454
投資不動産	211	245	209	186	116	133	81	100	87	67
持分法投資及びその他の投資	5,596	5,902	5,973	5,547	5,908	6,736	6,897	7,470	7,768	8,974
その他	641	774	1,030	975	1,095	1,419	1,010	1,108	1,116	1,284
資産合計	21,385	23,504	22,971	22,303	23,001	26,617	26,608	28,869	30,873	36,480
流動負債	7,178	8,460	8,072	7,544	7,348	8,976	8,918	9,735	9,856	12,409
営業債務及びその他の債務	4,831	6,542	5,824	4,817	4,760	5,460	5,793	6,631	5,965	7,499
リース負債	-	-	-	153	168	174	173	193	197	216
社債及び借入金	1,587	1,135	1,497	1,868	1,586	2,312	1,678	1,641	1,997	2,995
その他	760	783	751	706	834	1,030	1,274	1,270	1,697	1,699
非流動負債	8,427	8,793	8,284	8,540	9,108	10,002	8,924	9,578	10,941	12,533
リース負債	-	-	-	637	605	578	541	857	828	841
社債及び借入金	7,667	7,980	7,236	7,065	7,497	8,215	7,159	7,426	8,867	9,961
退職給付に係る負債	214	220	221	221	219	239	227	241	233	246
その他	546	593	827	617	787	970	997	1,054	1,013	1,485
負債合計	15,605	17,253	16,356	16,084	16,456	18,978	17,842	19,313	20,797	24,942
資本金	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603	1,603
資本剰余金	1,465	1,465	1,466	1,468	1,468	1,470	1,476	964	968	475
自己株式	▲ 2	▲ 2	▲ 9	▲ 109	▲ 159	▲ 310	▲ 311	▲ 218	▲ 457	▲ 52
その他の資本の構成要素	1,327	1,243	1,076	498	778	1,368	1,387	1,992	1,902	2,724
利益剰余金	1,112	1,555	2,046	2,331	2,500	3,149	4,222	4,900	5,674	6,154
（当社株主に帰属する持分）	5,505	5,864	6,182	5,791	6,190	7,280	8,377	9,241	9,690	10,904
非支配持分	275	387	433	428	355	359	389	315	386	634
資本合計	5,780	6,251	6,615	6,219	6,545	7,639	8,766	9,556	10,076	11,538
負債及び資本合計	21,385	23,504	22,971	22,303	23,001	26,617	26,608	28,869	30,873	36,480



財務指標推移

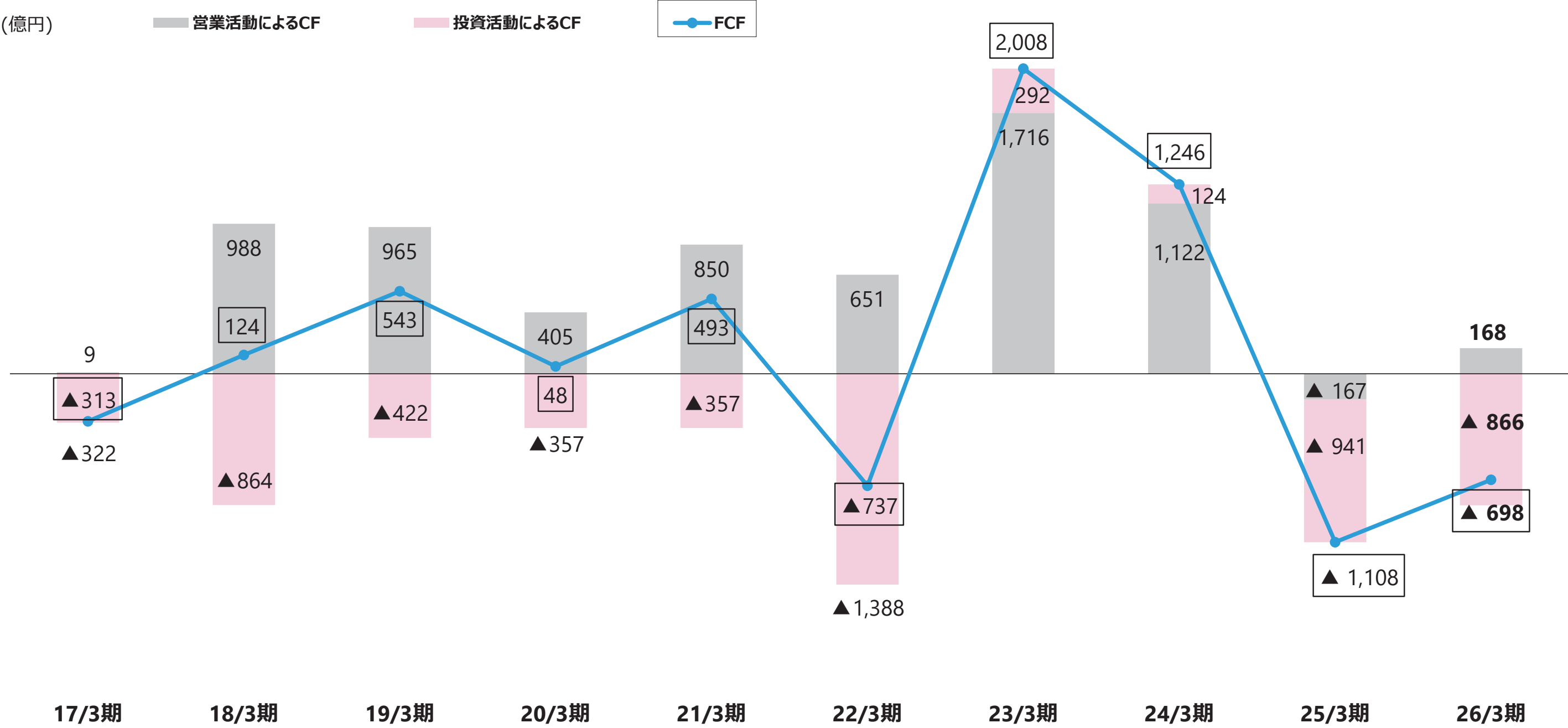


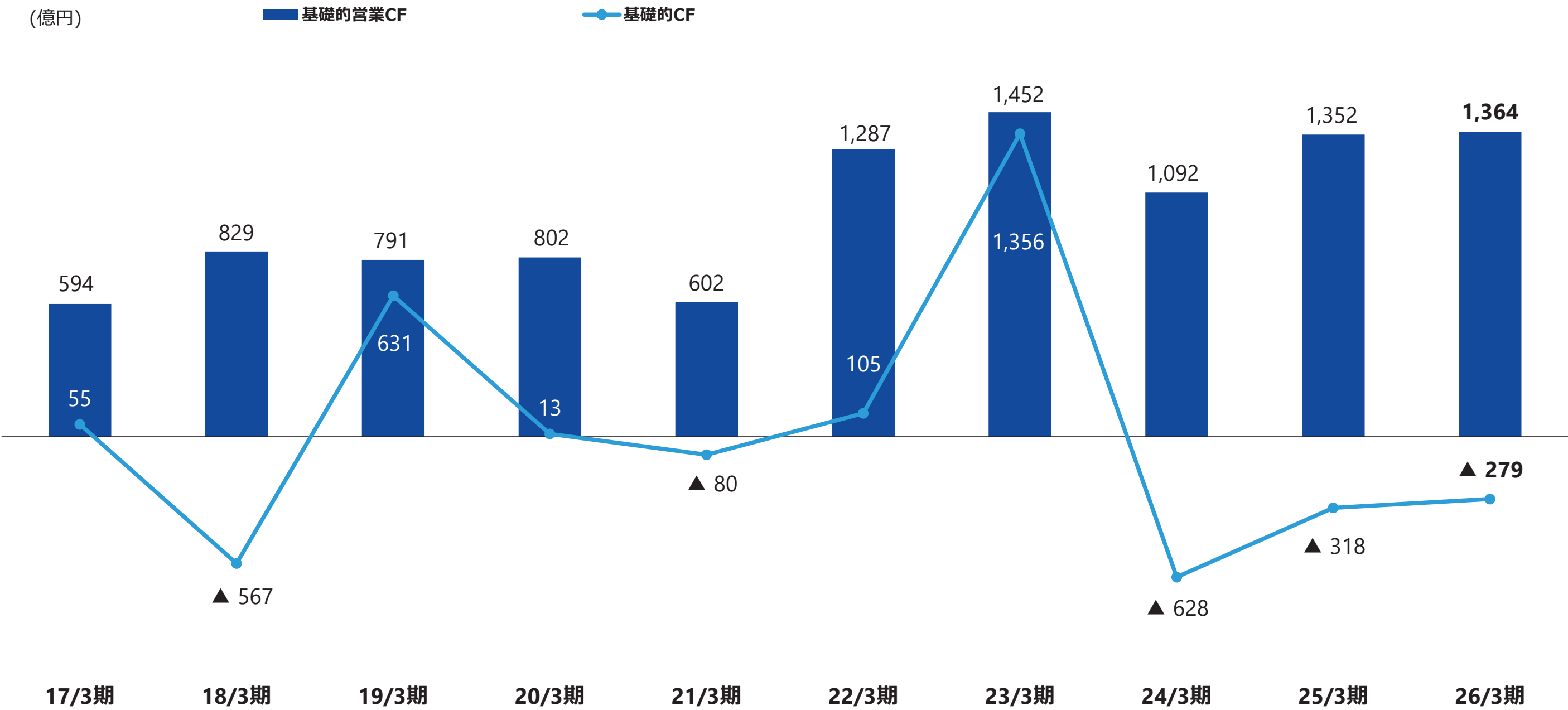
	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績
(億円)										
総資産	21,385	23,504	22,971	22,303	23,001	26,617	26,608	28,869	30,873	36,480
自己資本	5,505	5,864	6,182	5,791	6,190	7,280	8,377	9,241	9,690	10,904
自己資本比率	25.7%	25.0%	26.9%	26.0%	26.9%	27.4%	31.5%	32.0%	31.4%	29.9%
ネット有利子負債	6,111	6,035	5,847	6,132	6,106	7,702	6,294	6,973	8,872	10,396
ネットDER	1.11倍	1.03倍	0.95倍	1.06倍	0.99倍	1.06倍	0.75倍	0.75倍	0.92 倍	0.95倍
リスクアセット (自己資本対比)	3,200 (0.6倍)	3,500 (0.6倍)	3,600 (0.6倍)	3,800 (0.7倍)	3,900 (0.6倍)	4,500 (0.6倍)	4,900 (0.6倍)	5,800 (0.6倍)	6,300 (0.7倍)	6,600 (0.6倍)
流動比率	171.3%	162.7%	157.1%	161.4%	162.7%	155.3%	162.0%	150.2%	159.8%	155.4%
長期調達比率	82.9%	87.5%	82.9%	79.1%	82.5%	78.0%	81.0%	81.9%	81.6%	76.9%

	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績
(億円)										
基礎的CF	55	▲567	631	13	▲80	105	1,356	▲628	▲318	▲279
FCF	▲313	124	543	48	493	▲737	2,008	1,246	▲1,108	▲698
基礎的営業CF	594	829	791	802	602	1,287	1,452	1,092	1,352	1,364
営業活動によるCF	9	988	965	405	850	651	1,716	1,122	▲167	168
投資活動によるCF	▲322	▲864	▲422	▲357	▲357	▲1,388	292	124	▲941	▲866
財務活動によるCF	▲40	▲131	▲749	▲122	▲406	469	▲ 2,304	▲ 1,865	1,064	1,102
投資	860	1,580	910	810	960	1,500	930	2,060	1,030	1,770

※ 基礎的営業CF = 会計上の営業CFから運転資金増減等を控除したもの
※ 基礎的CF = 基礎的営業CF + 調整後投資CF – 支払配当金 – 自己株式取得
（調整後投資CF = 会計上の投資CFに長期性の営業資産等の増減を調整したもの）

CF推移







New way, New value